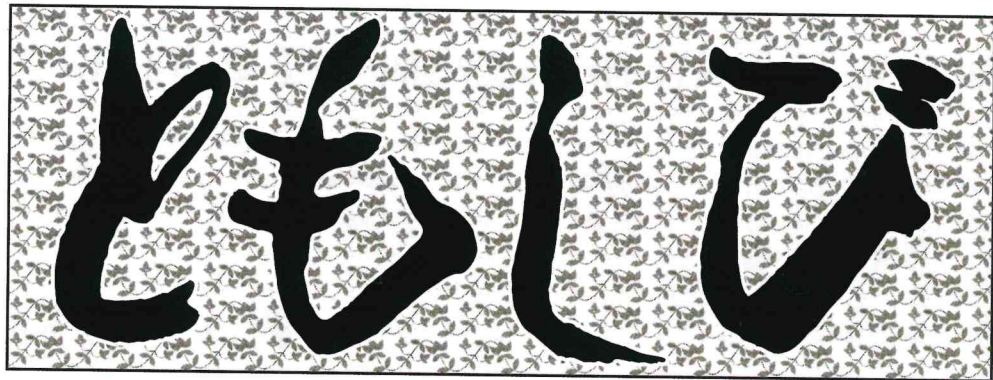


赤十字七原則

道平立立仕一性
人公中独奉単世



第 82 号

発行日 令和 6 年 5 月 20 日

発行 君津市赤十字奉仕団

編集 君津市赤十字奉仕団

広報編集委員

事務局 ☎ 0439 (56) 1242



君津市地区長石井宏子市長のご挨拶

令和 6 年度を迎えコロナの自粛緩和により、奉仕団活動が再開されました。これにより奉仕団員は新たな気持ちで、奉仕活動と共に自らが奉仕団員としてのスキルを磨く各種研修会（人間の命と健康、尊厳を守る赤十字の使命に基づ



委員長 林 和子

奉仕活動と研修会の充実を

委員長 林 和子

令和 6 年度 総会開催
事業報告・事業計画など承認
新役員構成及び役割分担紹介

4 月 11 日、「第 53 回 君津市赤十字奉仕団総会」は市役所 5 階大会議室で開催された。総会には市内 10 分団の正・副分団長、本部役員など 50 名が出席。また、来賓には君津市地区長の石井宏子市長、小川久美子福祉部長をお迎えし、はじめに奉仕団の信条唱和、続いて「あこがれの赤十字」を全員で斉唱した。石井市長の来賓挨拶では、奉仕団員への労いと励ましの言葉をいただきました。また、林委員長は日頃の活動のあらましを披露、団員に対する感謝の言葉を述べた。

き守る」の実施に向けてスタートしました。

令和 5 年度の会費募集では、皆さんのご協力で優秀賞を戴くことができました。ありがとうございました。

事業としては、昨年度より保育園の子ども達を対象に、災害時に自分の身を守る知識を伝える「きけんはっけん!!」をサポート事業として新たにスタート。市内の各保育園へ指導員と奉仕団員が、1 学期、2 学期、3 学期に各 1 回直接出向き、園児さん達とふれあう機会を得ました。

また、「里の家」の活動は順調に推移しておりますので、こちらの活動とも連携ができるような希望も持ちたいと考えております。このようにたくさんの方の事業があり、今年も全員で協力し一歩一歩楽しく活動を進めたいと思います。よろしくお願い致します。

赤十字奉仕団員の信条

- 一、すべての人々のしあわせをねがい、陰の力となつて、人人に奉仕する。
- 一、常に、くふうして、人人のために、よりよい奉仕ができるよう努める。
- 一、身近な奉仕をひろげ、すべての人々と手をつないで、世界の平和につくす。

赤十字社千葉県支部による「能登半島地震災害義援金」の街頭募金活動は、2 月 8 日・17 日に JR 千葉駅周辺で実施された。県内地域奉仕団、特別奉仕団等から延べ 246 名が協力。君津市奉仕団からは 7 名が参加、奉仕団のワッペンと赤いエプロンを着けて道行く人に募金を呼びかけた。義援金の総額は、百 3 拾 7 万 8 千 7 百 4 拾 8 円でした。

能登半島地震災害義援金の街頭募金
全額を義援金配分委員会へ

2 月 8 日 17 日

全額を義援金配分委員会へ送り被災地の方々の生活支援に役立たせる、ということでした。お疲れさまでした。

君津分団 齊藤由里子

2 月 17 日土曜日、千葉駅での募金に参加しました。時折冷たい風が吹く中、初めての体験でした。土曜日だったせいか人出は多かったように感じました。能登半島地震が起きて間もなくだったこともあり、人々の関心も高く多くの方が立ち止まって協力してくださいました。「友達の家が被災しました」と言う人や「実家が能登です」と言う人もいて、胸の詰まる思いでした。まだまだ復興には支援が必要な状況です。ほんの数時間の活動でしたが、少しはお役に立てたかなと充実した思いでした。

令和 5 年度 献血年間実績

年月日	受付 (人)	採血種別人数		不採血 (人)
		400 ml	200 ml	
5. 5. 11	92	80	5	7
5. 8. 16	78	59	10	9
5. 10. 18	76	59	4	13
6. 1. 5	42	31	1	10

献血
ご協力あり
がとうござ
いました

御礼 令和 4・5 年度の監事・関口牧江さん、同・齋藤悦子さん、お力添えをありがとうございました。

赤十字標語

人間を救うのは、人間だ。

千葉県赤十字奉仕団創設75周年受章者伝達式

新春のつどい

令和6年1月15日（月）

於 ハミルトンホテル上総

☆参加者全員での記念撮影



来賓と奉仕団員で楽しく合唱

**千葉県赤十字奉仕団創設75周年記念
有功章 伝達式・併せ「新春のつどい」
感謝状**

昨年11月、「千葉県赤十字奉仕団創設75周年記念大会」が開催されたことを受けて、君津市奉仕団では、1月15日ハミルトンホテル上総にて「新春のつどい」を開催。君津市地区長の石井宏子市長より受章者へ有功章並びに感謝状を伝達した。また救急法フェスタにて「優秀賞」を受けた2チームを披露、表彰状を贈った。式典終了後は、団員相互の交流と親睦を図り日頃の活動を労う和やかな会を催した。なお当日、1月1日に起きた能登半島地震の義援金募金箱を入り口に設置、多くの方に協力いただいた。

「ここを笑顔に 赤十字の輪」を掲げた「千葉県赤十字奉仕団創設75周年記念大会」は、昨年11月7日千葉市民会館で開催された。これを受けて君津市奉仕団は、1月15日ハミルトンホテル上総にて「新春のつどい」を開催した。正面に団旗と信条が掲げられた会場にて、君津市地区長・石井宏子市長が式辞。林和子

委員長が主催者挨拶を行った。表彰伝達式では、団体として君津市奉仕団が日本赤十字社社長感謝状を受章。個人では、金色・銀色有功章並びに日本赤十字社社長感謝状、支部長特別感謝状（金枠・銀枠）を計95人が受章した。式典の最後に、久保百合子さんが受章者代表謝辞を述べて和やかに「新春のつどい」の懇親会に入った。

今回は、直近に起きた能登半島地震災害対応のために県支部からの来賓がなく、参加者も心に重いものを抱えての式典となったことが残念に思われた。

写真左は、受章者代表の謝辞を述べる久保百合子さん。



同右は、お祝いの席に一曲「日本舞踊「紅の舟唄」」を舞う団員さん。



受章された皆様

- ▽金色有功章 児玉あや子 塩田美和子 渡辺文子 荻込博子 朝生安江 齋藤はるゑ 伊藤洋子 渡邊孝子 梶尾清江 千頭井久子 長谷川はる子 小倉妙子 鈴口正子 齊藤はる代 河野洋子
- ▽銀色有功章 野老桂子 鈴木眞佐子 加賀谷波枝 関口牧江 佐藤初美 加藤文子
- ▽日本赤十字社社長感謝状（個人） 林和子 江尻節子 松本珠代 鈴木尚子 久保百合子
- （団体） 君津市赤十字奉仕団
- ▽支部長特別感謝状 初津眞知子 座間房子 能星聰子 久保実家子 石井久子 川島美知子 島津富久江 安藤洋子
- ▽支部長感謝状（金枠） 齊藤由里子 齊藤和代 白井啓子 桐ヶ谷洋子 鈴木恵子 竹内きみ江 榎本みつ子 鎌田敦代 安田光江 小川和子 齋藤悦子 仲原美喜子 石橋和子 丸山由起子 緒畑操
- ▽支部長感謝状（銀枠） 齊藤みつ子 白石美美子 鈴



お客様の前で少し緊張気味

まだ肌寒い2月15日、本社より「きけんはっけん」の講習の様子を見学したいという申し出がありました。私たちの奉仕団活動の一つである子ども達への防災教室は今年で5年目を迎えました。最初に災害とは何だろうかという話、そして1学期は地震、2学期は風水害、3学期は避難の時どうすれば身を守るかを子ども達自身に考えさせます。そして、その時に地域のおばちゃんである奉仕団員が赤いエプロンを付けて子どもたちをサポートします。ところが、この日は、おじさんたち3人と若いお姉さんが久保保育園の子ども達の前にもいつもとは違う様子に子ども達もちょっと緊張気味。でも、すぐにいつもの生き生きとした元気な子供たちに戻り、一生懸命可愛い手でペンをにぎり〇と×を付けていきます。



最後に命を守るダンゴムシのポーズ!!

そして、おじさん達も赤いエプロンを付けて仲間入り、ニコニコして覗き込んでいました。何故〇なのか何故×なのか、子供たちに命を守るための理由を聞きます。「私をあてて」と元気に手を挙げている子ども達でしたが、お客様のために園で用意してくださったマイクを向けるとちょっとびっくりしたのか声が小さくなる場面も。最後に、いつものダンゴムシのポーズをみんなやって、本社のおじさんたちに「さようなら」をしました。視察終了後、会場を移して懇談会を開催、指導員と奉仕団員が市内の保育園に溶け込んで指導する様子に感銘を受けた、と講評されました。

日本赤十字本社から視察に 久保保育園へ きけん はっけん!!

周南分団 能星聰子

- 木みどり 佐藤ますみ 太田恵子 松井喜栄子 座間昌子 榎本道子 永徳智子 水越綾子 守益子 長瀬晴己 荒井ひろ子 時田久美子 鈴木ますみ 藤村万紀子 榎本朋子 増田正代 鎌崎昌枝 永井英子 榎本好子 前田久美子 田尻一江 鎌瀧洋子 緒形照子 法木仁美 佐久間由美子 佐藤薫 鈴木紀子 渡邊美和子 石井芳子 澤田君子 相川敏子 吉永房江 鳥井和枝 駒輝代 一河幸子 小沢正江 佐治和子 佐治待子 岩沢信子 腕木利子 松下ヒデ子 松本菊代 江澤君子 戸田美喜子
- 敬称略

東京臨海広域防災公園「そなエリア」にて災害体験

羽田空港見学も 1月17日 奉仕団研修



防災公園「そなエリア」の前に集合して

千五百人以上、住家被害は十一万件以上と驚く災害状況です。

防災対策の大切さを痛感し、1月17日の赤十字奉仕団の研修に参加しました。

防災体験学習施設「そなエリア東京」での研修は、地震災害後の支援が少ない時を生き抜く知恵を学ぶ防災体験学習ツアーです。実物大のジオラマで被災者や避難所の様子が再現され、能登の事を思うと息の詰まる思いでした。再現被災市街地の危険箇所確認をタブレット端末でクイズに答えるという体験をしました。

小糸分団 白井啓子

新年の穏やかな時を揺るがす能登半島地震に多くの人が驚かされました。人的被害が

RCボランティアスクールを受講して

君津分団 岸 幸枝 (令和5年度受講者)

研修一日目に、赤十字の起りや概要、赤十字七原則について講義を受けました。グループで行った行動原則ゲーム「残された6人」はとても興味深く、今でも印象に残っています。窮地に立たされた時、それぞれの事情や感情を持った人々に対して、冷静な考えが求められるものでした。グループ内は勿論、他のグループの意見も様々で自分の意見が果たして正しいのかと考えさせられる場面が何度もありました。自分の行動の裏付けとなる知識や経験がないと、身勝手な他の求めていない、自己満足な行為になつてしまふと感じました。

二日目は、奉仕団活動についての講義でした。自分の知らないなかった組織的な活動が、なくてはならないものでありその活動を支えるため、同じ思いの人たちの力あつてのものと実感しました。二日間の研修を通して、運営してくださった方々の「気づき、注意深さ、指示されないう、固定した役割や当番のない研修方針」にも感銘を受けました。他との意見交換が苦手な私ですが、自分の考えを表に出すことができるように導いてくださり、達成感を味わうことができる二日間を送ることができました。

南部ブロック赤十字のつどい 君津市奉仕団から10名が参加

主催 富津市赤十字奉仕団



このつどいは、県南の第8ブロックにおける赤十字事業の推進と奉仕団活動の充実・発展を図り、奉仕団員の知識の向上をめざし、市町の区域を超えた団員同士の交流を深めることが目的。

多様な人々がつながる地域へ

貞元分団 鈴木恵子

令和6年2月7日、「令和5年度南部ブロック赤十字のつどい」が富津市民館にて開かれた。コロナ下でできなかった対面での研修が再開され、令和5年度当番ブロックの富津市赤十字奉仕団の計らいで実施された。内容はハイゼック



震度の大きさ(ゆれ)を目で確認しました

このほど、日本赤十字社千葉県支部より君津市赤十字奉仕団に対し、令和5年度法人社資募集に於いて多大な貢献があったとして「特別優良表彰」が贈られました。皆様の努力の賜と感謝申し上げます。



総額2,463,099円、達成率104.3%

法人社資募集 特別優良表彰を受賞

- ▼第2回 ボランティアのプロジェクト型活動研修
- ▼第3回 振り返りと実践事例の紹介他 グループワークと質疑応答など

第1回の赤十字奉仕団等ボランティア研修会(昨年8月5日開催、既報)に続く、第2回(昨年10月23日)及び第3回(本年3月18日)が実施された。

第2回では、第1回研修会を踏まえて、事例報告を行うことにより他の奉仕団等ボランティアの取り組みを推進することが目的。内容は○モデル地域に於ける取り組みの現状、○グループワークの共有。

第3回は、「赤十字奉仕団活動を一緒に振り返りませんか?」として、○実践事例の紹介、○分科会(グループワーク)「お互いの活動を知ろう」これからの取り組みに向け



▲課題解決に向けて取り組む奉仕団員

ス炊飯袋による「非常食づくり」と「認知症について」の講演で、赤十字社千葉県支部、健康生活支援講習指導員・小島久子氏が講演された。

ハイゼックスについては富津ならではの「アサリの乾燥」を味付けに使って美味しくいただきました。

認知症については紙面上では詳細を報告できない事が残念ですが、君津市でも「認知症カフェ」が実践されていると聞きます。地域で安心して生活できる人間関係を深めることの大切さを再確認できました。

また、ご挨拶をいただいた地元富津市長も、ハイゼックス作りに最後まで参加されていたことが印象に残りました。

この他、第1回研修会で当分団(何処も同じだが)が取り上げた「新規団員が入ってこない」という問題について、様々な解決法を提案してくれていた。



令和 6 年度君津市赤十字奉仕団事業計画						
月	日	主 催 事 業		日	本社・県支部他連携事業	
		事業名	会場		事業名	会場
4	11	第 5 3 回総会	市役所 5 階大会議室			
	23	役員会	市役所 5 階大会議室			
5~6		会費募集	各地区			
	9	献血	保健福祉センター			
5	20	役員会	市役所 6 階災害対策室			
	30	一日赤十字	貞元コミュニティ-センター			
		ともしび第 8 2 号発行				
6~7		友愛訪問	各地区		県支部新人研修会	小櫃公民館又は小糸公民館
6	17	役員会	市役所 6 階災害対策室	26	指導技術等研修会	千葉県赤十字会館
7	7	救急法講習会	生涯学習交流センター	9	リーダーフォローアップ研修会	千葉県赤十字会館
8	3	はぐるま会議	小糸公民館			
		献血	ジョイフル本田君津店			
	22	役員会	市役所 6 階災害対策室			
9		ともしび第 8 3 号発行		18~19	リーダー研修会	千葉県赤十字会館
					総合防災訓練	
10	2	役員会	市役所 5 階小会議室	3	赤十字救急法フェスタ2024	千葉県総合スポーツセンター
		献血	保健福祉センター			
		健康と福祉のふれあいまつり	保健福祉センター			
11	6	基礎研修会	小櫃公民館	19~20	レッドクロスボランティアスクール	千葉県赤十字会館
	7	奉仕団視察研修会	未定			
12	2	役員会（年賀状作成）	市役所 6 階災害対策室			
	9	健康生活支援講習会	清和複合施設「おらがわ」			
1		献血	ジョイフル本田君津店			
		ともしび第 8 4 号発行				
2	19	役員会	生涯学習交流センター202			
3		はぐるま会議	小糸公民館			
	17	役員会	市役所 6 階災害対策室			
年間を通しての活動						
◇高齢者支援ネットワーク「里の家」						
実施日：第 1・第 3 火曜日 小櫃地区 会場：小櫃公民館						
実施日：第 2・第 4 火曜日 小糸地区 会場：生きがい支援センター						
◇救急法の出前講座						
君津市内学校・保育園・公民館関係・自治会等の要請を受け実施						
◇防災教室「きけんはっけん！」						
君津市内学校・保育園の要請を受け実施						
◇南部ブロック赤十字のつどい（今年度は袖ヶ浦市赤十字奉仕団の担当予定）						

里の家だより

里の家小糸では現在、来所者 9 人、毎回の奉仕者 5 名で運営しています。皆さんお元気で月 2 回の里の家を楽しみにしてください。

1 月 9 日、新年恒例の初釜茶会を行って穏やかな一年をーと願った。23 日には、折り紙を楽しみ、おやつには奉仕団員手作りの「苺大福」に舌鼓を打ち、2 月 27 日はお雛様を飾り、みんなで可愛い男雛・女雛を作り記念撮影しました。

4 月 23 日には、地域包括支援センターの役員をしている小川和子さんがセンターの利便を紹介、皆さん熱心にうなづき勉強していました。



折り紙は皆さん大好きです



沢山の生花に囲まれて生け花を楽しみました。



初釜風景



地域包括支援センターの内容を説明する小川さん

里の家小櫃は、ちよつと小人数になつて今は、仲良し 4 人組が来所されています。自分の足で歩いて通所する方、久留里線に一駅乗つて来られる方、息子さんやお孫さんが車で送つてくださる方もいらっしゃいます。皆さん自然が大好きで、畑の野菜を直売所に持って行ったり、自家用に作った野菜を子どもや孫にあげるのが楽しみなのだそうです。



手遊びや折り紙は毎回楽しみです。写真右は、2月16日 柳の枝に餅花を飾り付けて豊作や幸福を祈願する「小正月行事」をみんなで楽しみました。



あとがき

5 月半ば、体調を崩して何か外出を控えていたが、思いきつて、夕方になってから近所の散歩コースを歩いてみた。山裾の草木に薄紫の花が夕日を浴びて咲いていて、その美しさに「はっ」とさせられた。よく通る道なのに初めて見た大木の花だったのでスマホで写真を撮った。調べてみると「センダン」と出ていた。聞いたことのある名だが見たのは初めて、詳しく調べたら「センダン」は双葉より芳し」と言う言葉に行き着いた。この清々しい花をみることで、体調も戻ったような気がした。

「はぐるまの会」
新代表に
梶尾清江さん選出

前代表 塩田美和子

「はぐるまの会」は、県支部主催「レッドクロスボランティアスクール」研修を修了した君津市の奉仕団員からなり、平成 10 年に結成され今年で 26 年目となりました。会の代表は 2 年任期です。私が代表を務めた 2 年間は折しもコロナ禍真っ最中、思うような活動もできず、会全体の士気も下がりが気味でした。今年はコロナ禍を抜け漸く平時の事業の形に戻ります。会員の高齢化などメンバー減少問題もありますが、今年度は新会員を迎え 32 名でスタート、事業別班編成も決まりました。皆様のご協力をお願い致します。新リーダー梶尾清江さんどうぞよろしく致します。